

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公表番号】特表 2005-522299 (P2005-522299A)

【公表日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-029

【出願番号】特願 2003-585605 (P2003-585605)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/12 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 28 日 (2006.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内視鏡的医療処置において使用されるクリップ装置であって、この装置が、

a) 送出装置に取り付けられた第 2 のリテーナに嵌合すべく構成されてなる、第 1 のリテーナと、

b) それぞれが近位端と遠位端とを有してなる複数のアームであって、各アームにおける近位端は、第 1 のリテーナに結合され、該近位端から遠位側へ延びていて、前記各アームは、弾性材料から形成されていて、前記クリップ装置が開いた状態であるときには、遠位端が互いに離間する傾向をもち、前記クリップ装置が閉じた状態であるときには、互いに近接するような上記アームと、

c) 複数のアームのまわりに配置されてなる摺動リングであって、前記摺動リングは、前記クリップ装置が開いた状態であるときの第 1 の位置と、クリップ装置が閉じた状態であるときの第 2 の位置との間に、可動になっていて、前記摺動リングは、第 2 の位置にあるときには前記アームの遠位端を近接させるように構成されているような上記摺動リングと、を備え、第 1 のリテーナは、摺動リングが第 1 の位置にあるときには、摺動リングの中に配置され、摺動リングが第 2 の位置にあるときには、摺動リングの近くに配置され、

前記第 1 のリテーナは送出装置における第 2 のリテーナに係合し、前記摺動リングは、第 1 の位置にあるときには第 1 のリテーナが第 2 のリテーナから係脱することを防ぎ、前記摺動リングは、第 2 の位置にあるときには第 1 のリテーナが第 2 のリテーナから係脱することを許容する、ことを特徴とするクリップ装置。

【請求項 2】

第 1 のリテーナは近位部分と遠位部分とを備え、近位部分はフックとノッチとを有し、フックは第 2 のリテーナに設けられたノッチに係合すべく構成され、ノッチは第 2 のリテーナに設けられたフックに係合すべく構成されている、ことを特徴とする請求項 1 に記載のクリップ装置。

【請求項 3】

第 1 のリテーナの遠位部分は円形の横断面を有し、フックは半円形の横断面を有し、ノッチは半円形の横断面を有し、フックの横断面積は、ノッチの横断面積に比べて大きくなっている、ことを特徴とする請求項 2 に記載のクリップ装置。

【請求項 4】

摺動リングは内面を形成する管状の横断面を有し、内面は、第 1 のリテーナの遠位部分における円形の横断面の直径と略等しい直径を有している、ことを特徴とする請求項 3 に記載のクリップ装置。

【請求項 5】

摺動リングは近位部分と遠位部分とを備え、近位部分は、第 1 のリテーナの外面及び第 2 のリテーナの外面と摺動可能に係合すべく構成されてなる内面を形成している、第 1 の管状の横断面を有し、遠位部分は、前記各アームの外面と摺動可能に係合すべく構成されてなる第 2 の管状の横断面を有していて、第 2 の管状の横断面は、第 1 の管状の横断面に比べて小さくなっていて、前記摺動リングがクリップ装置の近位端から外れることを防いでいる、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のクリップ装置。

【請求項 6】

前記アームのそれぞれの遠位端は、内方へ屈曲した先端部分を備えている、ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のクリップ装置。

【請求項 7】

前記クリップ装置は、等間隔に隔てられた 3 本のアームを備え、前記アームのそれぞれは、遠位端と近位端との間の部分に沿って屈曲している、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のクリップ装置。

【請求項 8】

送出装置は、操作ワイヤと内側シースと外側シースとハンドルとを備え、操作ワイヤは、内側シースの中に摺動可能に配置され、第 2 のリテーナに取り付けられていて、内側シースは、外側シースの中に摺動可能に配置され、摺動リングの近位端と係合すべく構成されていて、外側シースは、クリップ装置が閉じた状態であるときにクリップ装置を取り囲むように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載のクリップ装置。

【請求項 9】

ハンドルが、送出装置の内部容積に連通してなる洗浄ポートを含んでいる、ことを特徴とする請求項 8 に記載のクリップ装置。

【請求項 10】

洗浄ポートは、内側シースと外側シースとの間のキャビティに連通していて、洗浄ポートは、クリップ装置の付近にて流体が出入りできるように構成されている、ことを特徴とする請求項 9 に記載のクリップ装置。

【請求項 11】

洗浄ポートは、標準的なルアー取付具を備えている、ことを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載のクリップ装置。